

宮崎国際大学 教育学部ニュースレター

ハイライト:

- 教育学部1年目が始動!
- 教育学部1期生入学して4ヶ月!
- オープンキャンパス 教育学部の体験授業
- 学生教職支援センターの開設
- ときどきわくわく学校体験!「スクールトライアル」
- 教育学部1年生徳丸さんピアノコンクール「奨励賞」受賞!
- 3つの免許・資格が取得可能!

教育学部 児童教育学科

教育学部1年目が始動!

教育学部児童教育学科は本年4月1日に新たにスタートしました。4月に入り、2日の入学式・オリエンテーション、4日から講義開始、前期の試験に夏休みと早いもので4ヶ月が経過しました。新入生について、教職員一同十分に注意しながらお世話をして来ましたが、全員が明るく活発で、毎日熱心に授業等に出席していました。スムーズなスタートが出来たものと喜んでます。学生諸君は、夏季休暇中に前期における学修が自分にとって十分であったかを今一度省察し、不十分であったことなどをしっかりと学修し直して欲しいと思っています。

さて、教育学部では、教育目標を設定し、これを達成するために教養科目、専門基礎・専門科目、実習等のカリキュラムを1~4年生の間に体系的・段階的に配置し、スムーズに履修できるようにしています。学生は、卒業時には小学校教諭・幼稚園教諭・保育士として、よき社会人であると同時に教育実践力のある人材となることを目指しますが、最終的には教員採用試験に合格し、教諭になることが目標です。しかし、教員採用試験に合格するためには4年間のカリキュラムを履修・学修すること及び教員採用試験対策をしっかりと立てて試験に臨む必要があります。本学部では、県内大学では唯一となる教員採用試験合格に向けての「学生教職支援センター」を学内に設置し、教員採用試験に合格するまでの活動計画をしっかりと立てて対応するようにしています。学生諸君には、学生教職支援センターの活動にある数々の支援と我々が自信をもって設定・配置したカリキュラム等と連携して履修し、全員が教員採用試験



教育学部 児童教育学科
学部長・教授 福田亘博

に合格し、晴れて教諭になることを支援します。

また、教育学部では、小学校・幼稚園・保育士に求められる優れた英語教育や音楽教育を実施することも強調しておきます。コミュニケーションとしての英会話は小学校教育においてすでに教科化され、今後低学年化されることが決定されています。従って、英会話力を持つことは今後益々重要になっています。また、教員になるためには音楽の「弾き歌い」力も必要です。教育学部では、本学国際教養学部が培ってきた伝統ある英語教育と宮崎学園短期大学の長年の音楽教育を1~4年間のカリキュラムに組み込み、同時に課外授業を連携させ、しっかりと教育を行います。

宮崎国際大学は2学部2学科の小さな大学です。その中で教育学部では学生と教職員とが家族的な雰囲気の中で交流できる環境を整え、小学校・幼稚園教諭及び保育士を目指す皆さんの希望を必ず実現できるように教職員が一丸となってお世話をしたいと思います。

教育学部1期生 入学して4ヶ月がたちました！

古谷一馬(教育学部児童教育学科1年)



「第37回きよたけ郷土祭りに本学学生と教職員計45名が参加。

宮崎国際大学の最初の印象はとても小規模な大学だなということでしたが、いざ入学してみるとすばらしく充実している大学であることが分かりました。本学は外国人の教員が非常に多いため、先生方と英語で会話をする機会もあり、他の大学と比べると英語に触れる機会が格段に多いのが特徴です。また、教育学部の専門科目についても、国語や算数などの教科を学んだり、「教育とは何であるか」を教職の授業で学んだりするなど、中身の濃い勉強をしています。この大学は、先輩方や

同級生と顔を合わせる機会が多いので、サークルや学部の友達ともすぐに仲良くなり、毎日がとても楽しいです。教育学部は現在1年生だけですが、全員がとても仲が良く、授業、休み時間、放課後、一日を通して笑いが絶えません。また、教員を目指している人達の集まりということもあって、困っている友達がいればみんななどで助けるなど優しい人が多いです。高校生の皆さんも是非宮崎国際大学教育学部に来て私達の仲間になって下さい。

「本学は、一人一人が主人公になれる大学！このような環境から身につけていく責任感や企画力！」

野崎秀正(准教授・アドバイザー)

今年度入学した学生が教育学部の1期生になりますので、先輩がいない中で大学生活になっているのですが、国際教養学部の先輩や教職員の支援を受け、生き生きと学生生活を楽しんでいる様子です。また、少人数なので大勢の中の一人に埋もれてしまわずに、一人一人が学校行事やその他のイベントにおいてそれぞれに重要な役割を担ってくれています。まさに一人一人が主人公になれる大学といえるでしょう。こうした特別な環境からも将来教師になる者にとって必要な責任感や企画力などの重要な資質を身につけることができます。



野崎准教授と古谷くん

さらに、授業は、他の多くの大学でよくみられる大人数での授業とは異なり、少人数でのアクティブ・ラーニング(能動型の授業)を積極的に採用しているため、学生の皆さんは自分の考えや主張を他人に筋道を立てて説明する技術を日を追う毎に上達させています。高校生の皆さん、教師という将来の夢に向かって、私達と共に学びましょう。

学生教職支援センターの開設！

学生教職支援センターでは、学生の皆さんの教員採用試験合格を目指して、1年次から計画的に対策講座等を実施します。将来の夢を実現させるために、大学教職員も学生も高い志と情熱を抱いてともに努力しなければなりません。専門教科の実力はもとより、教職教養の知識を身に付け、面接や小論文、そして模擬授業や場面指導の技術もしっかり習得して、将来を担う幼児・児童教育の専門家に成長して欲しいと思います。学生教職支援

センターは、皆さんの夢の実現を支援していきます。



人間性豊かで燃えるような情熱と指導力・資質を身につけた教員を養成！

どきどきわくわく学校体験！「スクールトライアル」

先生を目指す学生のために宮崎県教育委員会が毎年企画している、「スクールトライアル」のための、学内オリエンテーションが、7月30日にありました。「先生」への道の第一歩として、「スクールトライアル」への期待に目を輝かせています！



スクールトライアルは9月から来年1月までの期間実施されています。

教育学部1年徳丸さんピアノコンクール「奨励賞」受賞！

本学教育学部1年生徳丸晴香さんが一般社団法人全日本ピアノ指導者協会が主催するピティナピアノコンペティションの宮崎地区予選で奨励賞を受賞しました。徳丸さんは1年生ながらも、宮崎国際大学のサークル「ピアノの会」の代表として、「ピアノの会」の活動に取り組みながら、イベント等にも精力的に参加しています。



オープンキャンパスでは、ウェルカムコンサートを行います。徳丸さんはピアノ演奏を披露します。

オープンキャンパス 教育学部の体験授業！



多数の生徒、保護者が参加した第1回オープンキャンパス！第2回は8/24(日)、第3回は9/13(土)。

第1回のオープンキャンパスの教育学部の体験授業では、音楽、心理学、英語コミュニケーションの体験授業を行いました。参加された高校生のみなさん、大学で学ぶイメージはつかめましたか？第2回のオープンキャンパス(8月24日)では、心理学、数学、英語コミュニケーションを行います。ぜひご参加ください！



写真上ウェルカムコンサート(ピアノ連弾)(左)、音楽の体験授業の様子(右)
写真下心理学(左)、英語コミュニケーション(右)の体験授業の様子

3つの免許・資格(小学校、幼稚園、保育士)が取得可能です！

本学部では、希望する免許・資格の種類によって、小学校教諭と幼稚園教諭の免許取得を目指す「小幼コース」と幼稚園教諭免許と保育士資格の取得を目指す「幼保コース」の2つのコースを用意しています。

8/1教育学部AO入試出願受付中！

出願期間	試験期日	試験会場	合格発表日
平成26年 8月1日(金)～3月23日(月)必着(随時)	本人に郵送	宮崎	本人に郵送

■ 出願書類・選考方法

出願書類(志願書、出身高等学校長からの推薦書、調査書、自己推薦書)、面接及び小論文の結果を総合して合格者を決定します。

詳細は募集要項をご参照ください。



宮崎国際大学
国際教養学部 比較文化学科
教育学部 児童教育学科

〒889-1605 宮崎県宮崎市清武町加納丙1405番地

電話: 0985-85-5931 FAX: 0985-84-3396

ホームページ: <http://www.mic.ac.jp> スマートフォンサイト: <http://www.mic.ac.jp/sp>